

第22回 日本TRIZシンポジウム 2026

主催：NPO法人 日本TRIZ協会
後援：一般社団法人 品質工学会、株式会社 日刊工業新聞社
協賛：公益社団法人 日本設計工学会、一般財団法人 日本科学技術連盟、公益社団法人 日本パリエー・エンジニアリング協会、
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター、
応用統計学会、日本創造学会、一般社団法人日本機械学会、立命館大学 大学院テクノロジー・マネジメント研究科、
一般社団法人 日本システムデザイン学会



主題：「TRIZとAIの共創で新たな価値を見出そう!」

2026.7.3

プログラム

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55-N号館 第2会議室

第1日 9/3 (木)		
9:30	受付開始	
10:00	事務連絡 池田 理(事務局)	J(E)
	J101 開会挨拶	JE
	三原 祐治(日本TRIZ協会)	
10:10	J100 チュートリアル	J
	三木 基晴(日本TRIZ協会) TRIZ 概要セミナー	
12:10	休憩	
13:30	J01 片桐 朝彦(株式会社アイデア)	JE
	「AI×QFD×TRIZ×タグチメソッド」 ～ヒット商品を生み出す“AI活用型 開発プロセス”～	
14:00	J02 大津 孝佳(東京理科大学/沼津工業高等専門学校)	JE
	TRIZを武器にした駿河湾探究学習の実践 —小中高専連携による「点→線→面→立体」の海洋・知財創造教育—	
14:30	休憩	
14:40	J03 中川 徹(大阪学院大学 AND クレブス研究所)	JE
	TRIZの考え方に基づく 地震の短期／直前予知の研究(3) 地震予知注意報／警報／緊急警報のための 技術と今後	
15:10	J04 池田 理(日本TRIZ協会)	JE
	AI統合型TRIZ展開 進化システムを創出して社会的問題を解決する方法	
15:40	休憩	
15:50	E101 基調講演	EJ
	Oleg FEYGENSON (TRIZ Master, MATRIZ Official) The relationship between the development of generative AI and TRIZ (生成型AIの開発とTRIZの関係)	
17:20	休憩・移動	
17:40	交流会 (会場：理工63号館1F ロームスクエア)	
19:10	終了	

第2日 9/4 (金)		
9:30	受付開始	
10:00	J102 特別講演	JE
	白坂 一 (弁理士法人白坂特許事務所 & 株式会社 AI Samurai) 「ひらめきの天動説から、データの地動説へ」 ～特許から生まれたTRIZと AIの共創～	
11:00	休憩	
11:10	J05 長谷川 陽一(日本TRIZ協会)	JE
	LLM時代におけるTRIZ推進と知財実務の連動 —発明し漏らし・権利化し損ね・FTO手戻りを防ぐ—	
11:40	J06 長谷川 公彦(日本TRIZ協会 知財創造研究分科会)	JE
	誰でも使える効率的な発明プラットフォームの構築	
12:10	休憩	
13:30	J07 永瀬 徳美(日本TRIZ協会 知財創造研究分科会)	JE
	AI活用前提でのTRIZの効用の考察 ～知財創造研究分科会の活動から～	
14:00	J08 泉 丙亮(三条市立大)	JE
	TRIZとAIを活用した技術的問題解決手法	
14:30	休憩	
14:40	J09 西山 聖久(立命館大学)	JE
	製造業のためのプロダクトマネジメント 改善×価値創造×ChatGPT活用ガイド	
15:10	J10 染谷 厚徳(首都高速道路株式会社)	JE
	社会インフラにおける空間制約駆動型ラディカルイノベーション	
15:40	休憩	
15:50	J11 緒方 隆司(株式会社アイデア)	JE
	R&D専門AI「Patsnap Eureka」を 使ったTRIZ9画面法による未来予測	
16:20	J12 永瀬 徳美(日本TRIZ協会 TRIZ-Rx分科会)	JE
	積極的公開検討プロジェクト TRIZ-Rx分科会のプロジェクト活動として	
16:50	休憩	
17:00	J13 池田 理(日本TRIZ協会)	JE
	AI統合型TRIZ展開 機能ダイアグラム作成方法の紹介	
17:30	J103 閉会挨拶	J(E)
	澤口 学(日本TRIZ協会)	
17:40	終了	

凡例(発表・投影言語)

JE 日本語発表+英語投影

凡例(種別)

基調講演